

ニュースレター No.24

発行：2002年11月

湧水流れ込む野川は私たちの宝物



水辺の生き物調査実行委員会

去る9月29日(日)佐須用水が流れ込む野川の細田橋周辺で水辺の生き物調査を行いました。幸い天候にも恵まれ、関係者は総勢約40名(参加者26名、スタッフ10余名)。圧巻は小金

井市在住で野川の生物を長年見守っておられる講師の平井さんによる投網の実演。モツゴやタモロコシの他、フナを捕獲しようと堰の下の深みに投網を打ったのですが、むき出しになった蛇籠(じゃかご)に引っかかるハブニング。自ら身をさらす平井さんの姿を見ると、深みは1m半以上。あまりの深さに子どものみならず大人までも危険を感じました。捕獲した魚は投網からバケツに移して観察です。魚採り目当てで参加した子どもも大喜びで、観察後は自らの手で川に返してやりました。



普段の活動では主催者側としてゆっくり観察できないスタッフも、この日ばかりは生き物採取や同定作業に夢中。最後は騒々しさに休息を邪魔されたのか、アオダイショウの乱入で締めくくりとなりました。

水辺の生き物を調査することで川の診断を行いました。生き物の同定や判定が難しいために東京都の環境局では、パックテストを用いた水質検査の方に重点を置く方針が打ち出されていますが、当実行委員会では、

野川での遊びをとおして、身近な川を感じるよい

機会になったと思います。今後も継続していきたいと考えています。私たちの心の潤いを与えてくれる野川が自然豊かに生き続ける限り。(中原)



秋雨をうけて澱みなく流れる水、時折姿を見せるカワセミ、河川敷に繁茂するヨシ。人工的な壁に囲まれた野川も自然豊かに生きつづけています。



●ちょうふの自然

ちょうふ環境市民懇談会の活動に参加し始めたのは昨年7月のことでした。植物観察が好きになったのも、調布市環境モニターが行っているガイドウォークに参加してからで、参加回数に比例して植物観察により興味が出てきています。

調布の自然には、人それぞれ思いがあると思います。私が気になる植物は、キリの花と実、ヤブランの美しい花、タチアオイの花、ヒガンバナの花と花が咲いた後に出てくる葉、崖線で見つけたツルボなどがあります。調布市環境モニター活動では春・夏・秋・冬の植物調査を行ってきましたが、集まった調査票をモニターでまとめ・完成させ、植物などの自然に関する多くの話しを色々な方から聞くことが、自然観察のさらなるステップになると思っています。

今月の活動報告

- ・水辺の生き物調査実行委員会
- ・野川・里山探検隊
- ・入間・樹林の会
- ・「総合的な学習の時間」に対応する地域プログラム等作成事業 市民ワーキンググループ
- ・ちょうふ DE 田んぼ日記

野川・里山探検隊 何しよう・どうだった

♪いつ 10月5日(土) 15:00~18:30

♪どこで 多摩川河川敷

♪なにを 多摩川の野鳥・水生生物・秋に鳴く虫の観察

♪どうだった 集まった隊員は、26名とそのお父さんお母さん24名で、最初はニヶ領上河原せき(ダム)の少し上流で、双眼鏡の使い方を教えてもらい野鳥を観察しました。多摩川にいた鳥は、カワウ・サギなどで、カワウはダムの上の電線に200羽ぐらい留っていて、全部川下を向いてとまり、ダムをのぼる魚をねらっていました。どこからきて、どこへ帰るのか暗くなっても留っていました。つぎにダムの下流に移動して、水生生物の説明があり、魚のいる場所や採り方・とった魚の観察(よしのぼり)をして、前もって仕掛けておいたトラップ場所のワンド(静水域)で、100数十匹の「くちぼそ」を捕獲し観察後放流しました。

軽食休憩ののち、下流の葦原に移動しながら「きりぎりすとおろぎの違い」や「虫の鳴き声」などの説明を聞き、何種類複数の虫の鳴き声を聞くため多摩川五本松公園そばの葦原のまわりを周回しました。きりぎりすやこおろぎの声が多く、「かんたん」の鳴き声を聞くことができなくて残念でした。



入間・樹林の会活動報告

10月20日（日）管理作業（保全課職員4名を含め13名）一午前、

作業①「道づくり」（丸太を寝かせて階段下から広場まで）

②階段づくり ③落ち葉だめ（急傾斜部分の）柵補強

④保護植物の周りを細い杭で囲む

11月17日の活動日に野川・里山探検隊の活動と合同で行うため、親子30組、総勢60名もの人が出入りすることを想定し、作業にとりかかりました。道づくり、階段づくり、落ち葉だめと3グループに自然にわかれて、少ない人数ながらやりきりました。マテバシイを伐採してできた広場に切り株が並び、坂の上からみた雰囲気も充分。17日の親子での観察会と12月のお楽しみ会開催が楽しみです。マテバシイのどんぐりの収穫も今が最高です。

NTT敷地内樹林地の観察会（午後）

午後からは、小雨がぱらつく中、昨年秋に続き、周辺樹林地を歩きました。10月さくら、ノハラアザミ、シロバナタンポポ、アキノキリンソウ、シロヤマギク、ミズヒキソウ、ギンミズヒキなど10種類の花が咲いていました。歩きながら、シイの実拾いをしたり、キノコを見つれたりと実りの秋を楽しみました。

「総合的な学習の時間」に対応する地域プログラム等作成事業 市民ワーキンググループ

今年の6月に、環境保全課からNPO法人に委託した事業の運営を担うために発足した市民グループです。年齢・性別・職業・環境関連のボランティア経験などは様々ですが、環境学習に興味を持ち、子どもたちに調布の自然を伝えていきたいと思って活動しています。

●どんな事業？

今年度からすべての小中学校で「総合的な学習の時間」が授業に取り入れられました。この「総合的な学習の時間」において環境学習の支援を行うもので、地域の自然環境を活用した学習の教材や資料を作成したり、人材を育成することを目的としています。

●どんな人たちがやっているの？

現在、メンバーは公募により集まった12名です。この市民ワーキンググループを中心に、環境保全課と連携し、多摩川センターの支援を受けながら活動しています。

●具体的な活動は？

・アンケート調査

市内の小中学校での総合学習の実態や、どんな要望があるのかを知るために、学校の先生方にアンケートをお願いしたり、お会いして話を伺ったりしました。

・学習環境の調査

アンケート調査の結果などを基に、環境学習のフィールドとなるモデル地域を選定し、自然環境・社会環境の調査を行う予定です。

・人材の登録と人材育成講座

環境学習を支援する学習リーダーやサポーターなどの登録簿を作成し、その支援を行う人材育成講座を実施します。

◆.....◆
今後は人材登録簿への登録のお願いや、情報提供等、いろいろ皆さまにご協力をお願いすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。尚、講座の一般公募は来年度以降になる予定です。

ちょうふ DE 田んぼ日記その18 「さあ収穫の季節、稲刈りだ！」

関東直撃の台風の影響もなく無事うるち米の稲刈りを10月6日に行いました。前日に刈り取った稲を乾燥させるはざ(稲架)を準備し、当日は受講生総出の稲刈りです。

今年植えたもち米は品種が晩生で約1ヶ月の遅れがあるため、うるち米のみの稲刈りは1時間もしないうちに終了。大人が稲を束ねてる間、子どもはアマガエルやイナゴやコオロギに夢中。何と懐かしや、はざ掛けした稲から立ちこめるワラの乾燥する香り。

実は準備したはざの足場の方向のミスで、夜の雨を伴う強風で次の日はざが倒れてしまっておおワラわ。佐須用水の水不足に始まり、ボウフラの大量発生、告知してないけど晩生のもち米の異常成長と、予期できない出来事に、だからやめられないんだよと関係者の弁。

稲刈りが終わった田んぼには、春にすぎ込んだレンゲが既に芽を出しています。(受講生兼通信員 中原)



～田んぼの学校「収穫祭」のお知らせ～
田んぼで収穫したお米を使って、もちつきをします。つきたてのおもちを食べてみませんか？
日時：11月23日(祝) 10:00～
(雨天順延)

場 所：佐須の田んぼ

持ち物：お碗、お箸、コップ

参加費：250円

問合せ：野川で遊ぶまちづくりの会(尾土)

TEL 0424-87-4385

● こどもエコクラブのお知らせ

日 時：11月2日(土)9:30~12:00
 集合場所：京王多摩川駅前 小雨決行
 解散場所：多摩川市民広場(日活撮影所前)
 持ち物：筆記用具、飲み物、防寒対策、雨具、
 双眼鏡、虫めがね、図鑑など

9月28日の野鳥観察会が雨で中止になったため、11月2日に葉っぱしらべ隊と合同の観察会を実施します。実りの秋の植物、冬鳥でにぎ合う川面、見所が一杯です。その次は12月14日(土)、野鳥の会東京支部川端さんを迎えてお話と観察会です。

● 多摩川クリーン作戦に参加しませんか

日 時：11月10日(日)8:00~9:30
 集合場所：京王相模原線鉄橋下付近多摩川左岸河川敷
 解散場所：同 雨天中止 申し込み不要直接現地へ
 朝のひと時に、多摩川の清掃をみんなでしませんか。雨天の場合は11月17日(日)に延期になります。

● ガイドウォークに参加しませんか

日 時：11月10日(日) 9:30~12:00
 集合場所：御塔坂児童遊園 荒天中止
 解散場所：晃華学園付近
 持ち物：水筒・筆記用具 申込み制：定員(30人)
 御塔坂児童遊園(野川御塔坂橋南側)から崖線沿いを歩き、池上院、虎狛神社、祇園寺、柏野小学校前、カニ山下を巡り、晃華学園付近で解散します。市内の紅葉も見られるかもしれませんね!
 なお11月4日(祝)13:30に御塔坂児童遊園に集合し、下見を行ないます。

● 雑木塾連続講座に参加しませんか(追加募集)

日程：2回目(11/23) 3回目(12/21)
 4回目(1/25) 5回目(2/22)
 6回目(3/15)
 フィールドは布田6丁目のへび山です。全日程参加する意志のある方を募集します。
 申込み制：定員(10人)

グループ紹介 その5

調布市環境モニター

① 目的

調布市の環境を知り、考え、行動することを目的としている。

② 設立の経緯

H8年度に行政が市民に呼びかけ発足。

③ これまでの主な活動

H9・10年度：調布の環境を知るために、学習活動を実施した。/H11・12年度：環境マップを作るために、崖線林や屋敷林、田畑といった「大きな自然」をテーマにした調査活動を実施。/H13年度/環境マップの利用とこれまでの知見を生かし、一般の人に身近な自然を知ってもらう「ガイドウォーク」や新しい調査「調布の自然調べ」を実施。

④ これからの活動予定

H13・14年度の「調布の自然調べ」調査のまとめを行う。そこでまとめた結果を公表する。また、「ガイドウォーク」を実施していく。

⑤ ひと言アピール

環境モニターに参加すると身近な自然に触れる機会が多くなり、心身ともに健康になりますよ。

⑥ 問合せ先

調布市環境部環境保全課

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

《会議のスケジュール》

日時	場所	活動名/内容
11月5日(火) 18:30~20:30	市役所6階 第6会議室	環境モニター 作業日
11月11日(月) 18:30~20:30	市役所8階 第8会議室	環境モニター 連絡会
11月15日(金) 18:30~20:30	市役所6階 図書教養室	雑木林塾 運営会議
11月18日(月) 13:30~16:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 編集作業
11月18日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境市民懇談会 連絡会議
11月25日(月) 13:30~15:30	市役所3階 消費者コーナー	ニュースレター 発送作業
11月25日(月) 18:30~20:30	市役所6階 図書教養室	入間樹林の会 世話人会

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 (荒井・倉林)
 TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会